

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設再構築計画策定支援事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新水道ビジョン				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少社会に伴うダウンサイジングや強靱で持続可能な水道施設の再構築を行うため、人口減少社会に対応した水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成し、水道事業者の施設再構築計画策定を支援する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査 ・水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成するための技術的検討 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					7	
		繰越し等						
		計					7	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	水道施設再構築計画策定手引きの作成		成果実績	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査数		活動実績 (当初見込み)	件	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	予算額/施設再構築計画の事例調査数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費	0	7					
	計	0	7					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保するため、水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成することは広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	人口減少社会に伴う水需要減少は全国的に見られる傾向であり、水道施設再構築(強靱化)計画策定について指針を示すことは、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保するため、水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成することは優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	新水道ビジョンでは、人口減少社会に伴う水需要減少傾向の現状における過渡期の施設再構築の必要性を指摘しており、水道事業者は、人口減少社会に伴うダウンサイジングや強靱で持続可能な水道施設の再構築をすることが求められているが、その指針がない状況である。本事業は、人口減少社会に対応した水道施設再構築(強靱化)計画の策定方法の整理に必要な経費であり、事業の目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—	強靱かつ省エネ・省コストに配慮した水道施設の整備は、広く国民のニーズがあるものであるが、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—	—				
備考					
—					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

厚生労働省 7百万円

水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きの
策定



【一般競争入札】

A. 民間業者等 7百万円

・ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査
・水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成するための技術的検討

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道技術研究開発推進事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新水道ビジョン				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道に関する技術開発・調査研究のロードマップを作成し、それに基づく技術開発等の実行のための、支援ツールを作成することにより、産学官の連携により効率的な技術開発等を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 過去の研究成果を体系的に整理 水道事業者等が持つ技術開発に関するニーズの調査 技術開発・調査研究のロードマップの作成 作成したロードマップに基づき、技術開発等を行うに当たって、様々な事業主体が連携して技術開発に取り組むための支援ツールの作成 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算				5		
		補正予算						
		繰越し等						
	計					5		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)	
	技術開発支援ツールの作成		成果実績	%	-	-	-	100
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研究開発ニーズに関する調査		活動実績 (当初見込み)	事業者数	-	-	-	-
					-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	予算額/研究開発ニーズに関する調査				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費	0	5					
	計	0	5					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	安全で災害等に強く、持続的な水道を実現するために、技術開発・調査研究のロードマップ等を作成し、技術開発を促進することは広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	これまで国の研究機関・大学・民間企業など様々な実施主体がそれぞれ行ってきた技術開発を整理し、安全で災害等に強く、持続的な水道を実現するために技術開発を促進することは、国が実施すべき事業といえる。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	安全で災害等に強く、持続的な水道を実現するために、技術開発・調査研究のロードマップ等を作成し、技術開発を促進することは優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	近年は水道へのニーズが多様かつ高度化してきており、新水道ビジョンでは研究機関等にさらなる技術・研究開発を求め、国はその支援を行うこととしている。また、安全で災害等に強く、持続的な水道を実現するため、技術開発等の促進が急務である。本事業は、これまで様々な実施主体がそれぞれに行ってきた技術開発を整理し、より効率的な技術開発等を促進することを目的としており、事業の目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—	安全で災害等に強く、持続的な水道を実現するためには、高度な技術の開発が必要不可欠であり、優先度が高いものであるが、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

厚生労働省 5百万円

水道に関する技術開発・調査研究のロードマップの作成等



【一般競争入札】

A. 民間業者等 5百万円

・研究成果の整理
・水道事業者等が持つ技術開発に関するニーズの調査
・技術開発のロードマップの作成

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道水質管理ベンチマーキング推進事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介	
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第4条第2項、第34条の2		関係する計画、通知等	「簡易専用水道の管理に係る検査の方法その他必要な事項」「水道水源における水質事故への対応の強化について」「水道水中のクリプトスポリジウム等対策の実施について」等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法を策定し、事業者自ら、及び行政機関の指導強化による、水質管理水準の向上を実現し、もって水道水の安全を確保する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による検討を通じ、水道事業における水道水質管理に適用可能なベンチマーキング手法について検討。 ・H26に策定する暫定評価手法を用い、特定の水道事業者等にモデル的に適用して評価手法を見直し。 ・自家用水道の水質管理に適用可能なベンチマーキング手法等について検討。 ・H27に策定する評価手法を用い、一部の自治体等と連携。 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				5	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					5	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (毎年度)
	法定検査等受検率(簡易専用水道/小規模貯水槽水道)	成果実績	%	-	-	-	100/前年比増加
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ベンチマーキングマニュアルの策定	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	(円/件)		算出根拠	入札額/マニュアル策定件数			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	食品等試験検査費	0	5				
	計	0	5				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	安全で質の高い水道を確保するため、水道水質に影響を及ぼさないような水質管理業務の評価手法を策定することは広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	水道水質に影響を及ぼさないような水質管理業務の評価手法については、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	安全で質の高い水道を確保するため、水道水質に影響を及ぼさないような水質管理業務の評価手法を策定することは優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	<p>近年、水質事故による大規模断水や耐塩索性病原生物による汚染事例、カビ臭の長期発生による問題等が発生しており、水道事業者や簡易専用水道等の自家用水道の設置者の水質管理能力の維持・向上が不可欠である。</p> <p>本事業は、ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の評価手法を策定し、事業者自ら、及び行政機関の指導強化による、水質管理水準の向上を実現し、もって水道水の安全を確保するものであり、事業目的の妥当性及び重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>			
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
—	国民生活に密接に関係する水道の水質管理技術・手法の向上は広く国民のニーズがあり、優先度も高いものであるが、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
—	—			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年		平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 5百万円

ベンチマーキング手法を用いた水質管理業務の
評価手法の策定



【一般競争入札】

A. 民間業者等 5百万円

・水道事業における水道水質管理に
適用可能なベンチマーキング手法に
ついての検討

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0